

第5期 雄武町総合計画 後期実施計画書 兼 事務事業評価調書

様式1

No. 10010060

政策目標	4 つるおい・雄武～生活環境・生活基盤の充実～	会計区分	1 一般会計	【全体計画内容】※後期実施計画期間外の計画期間を有する場合のみ記載 維持事業であるため、毎年実施する事業である。
基本施策	16 交通体系の整備	事業優先度	B	
単位施策	1 道路環境の向上	政策事務分類	3 単独自治事務(その他)	
事業名	町道等維持業務委託事業	見直し年度		
事業期間	平成25年度～平成29年度	担当課	10 建設水道課	
事業主体	雄武町	関係課	#N/A	
事業指標	砂利敷延長、路面整正延長	関係例規・法令名	#N/A	
事業目標	20,000m、1,150,000m	ハード/ソフト 事業区分	1 ハード事業	
住民参加	無	関係例規・法令名		
住民協働		関係個別計画名		

全体計画 事業内容		平成 25 年度 事業内容	平成 26 年度 事業内容	平成 27 年度 事業内容	平成 28 年度 事業内容	平成 29 年度 事業内容	
計 画 内 容	○町道等の砂利道整備 ・砂利敷延長 L=20,000m ・路面整正延長(2回(春、秋)実施) L=1,150,000m	砂利敷延長 L=4,000m 路面整正延長 L=230,000m	砂利敷延長 L=4,000m 路面整正延長 L=230,000m	砂利敷延長 L=4,000m 路面整正延長 L=230,000m	砂利敷延長 L=4,000m 路面整正延長 L=230,000m	砂利敷延長 L=4,000m 路面整正延長 L=230,000m	
	事業費(千円)	25,070	4,300	4,700	4,950	5,350	
計 画 事 業 費	財源内訳						
	国庫支出金	0					
	道支出金	0					
	地方債	0					
	その他	0					
一般財源	25,070	4,300	4,700	4,950	5,350	5,770	
実 績 事 業 費	事業費(千円)	23,821	4,150	4,584	4,657	4,974	
	財源内訳						
	国庫支出金	0					
	道支出金	0					
	地方債	0					
その他	0						
一般財源	23,821	4,150	4,584	4,657	4,974	5,456	
関 連 事 項	特定財源の名称						
	【評価・実績】	(実施内容等) 砂利敷延長 L= 4,190m 路面整正延長L=148,806m	(実施内容等) 砂利敷延長 L= 3,930m 路面整正延長L=393,900m	(実施内容等) 砂利敷延長 L= 4,340m 路面整正延長L=140,766m	(実施内容等) 砂利敷延長 L= 4,590m 路面整正延長L=108,344m	(実施内容等) 砂利敷延長 L= 4,600m 路面整正延長L=77,096m	
		※事務事業評価結果 A-継続/現状維持	※事務事業評価結果 A-継続/現状維持	※事務事業評価結果 A-継続/現状維持	※事務事業評価結果 A-継続/現状維持	※事務事業評価結果 A-継続/現状維持	
	前期計画からの継続 (継続有り)	年度目標値	4,190m、148,806m	3,930m、393,900m	4,340m、140,766m	4,590m、108,344m	4,600m、77,096m
	第6期計画への継続 (継続有り)	年度達成率	97%	98%	94%	93%	95%
	全体達成率	17%	35%	53%	73%	95%	
	備考欄						

事業名	町道等維持業務委託事業	評価者 管理職 職氏名	建設水道課長	田原 慎也
		評価者 作成者 職氏名	土木管理係	大庭 悟

様式1
平成29年度実施
平成30年度評価

■事務事業の目的・内容(Plan・Do)

【誰、何が(対象)】	道路利用者、道路	望ましい指標(目的達成状況を最も端的に表す理論上の成果指標)	①砂利敷延長 ②砂利道整正延長		
【抱える課題やニーズは】	町道等の砂利道の通行障害		指標(指標計算式/解説)	目標値及び実績値	
【どのような状態になることを目指したのか(意図)】	砂利道の不陸の解消		① 砂利敷延長/砂利敷延長	目標年度	平成29年度
【その結果、どのような成果を実現したいか】 ※成果=目的	町道等の砂利道の安全な通行の確保			目標値	4,600 m
			実績値	4,600 m	
			達成度	100.0 %	
			② 砂利道整正延長/砂利道整正延長	目標年度	平成29年度
				目標値	77,096 m
			実績値	77,096 m	
			達成度	100.0 %	
【内容(どのような手段で何を行ったか)】	民間委託により実施	砂利敷委託業務は、入札により民間業者が実施し、路面整正委託業務は、砂利道を熟知し、グレーダ運転手を抱えている民間業者に雄武町所有のグレーダを貸与し実施した。			

■事務事業の評価(Check)

(1)事務事業の必要性(町民ニーズ、社会情勢に照らして妥当か、町が担う必要があるか。当該事業を実施しない場合の支障、既存事業との機能重複や見直しによる対応可能性)

必要	<input type="checkbox"/>	義務的なもの	町道等の砂利道の円滑な通行を確保するためには、町が担う必要がある。
必要/概ね必要/課題あり	<input type="checkbox"/>	全部	
	<input type="checkbox"/>	一部	

(2)事務事業の有効性(期待する効果が得られたか)

有効	設定した目標値の達成状況	当該事業を実施したことにより、砂利道の不陸の解消され、安全な通行が確保された。
	<input checked="" type="checkbox"/> 達成	
有効/概ね有効/課題あり	<input type="checkbox"/> ほぼ達成	
	<input type="checkbox"/> 下回る	

(3)事務事業の効率性(コストに見合った効果が得られたか、計画上のコストを下げる工夫をしたか)

効率的	判断の理由	砂利敷きの補充材として、平坦部では切込砂利より安価なズリを使用し、路面整正では、凸凹の少ない路線を省くことで延長を縮小し、事業費の抑制を図ったことは、効率的であると判断する。
	<input checked="" type="checkbox"/> 事業費抑制	
	<input type="checkbox"/> 人員削減	
	<input type="checkbox"/> 時間短縮・作業軽減	
効率的/概ね効率的/課題あり	<input type="checkbox"/> その他	

(4)事務事業の公平性

公平	判断の理由	町道等の砂利道の安全な通行が確保されたので、不特定多数の道路利用者に対して、公平であると判断する。
	<input type="checkbox"/> 受益者負担がある	
	<input type="checkbox"/> 受益者負担がない	
	<input type="checkbox"/> 受益が一部に偏る	
公平/概ね公平/公平でない	<input checked="" type="checkbox"/> その他	

■その他特記事項(アンケート調査など外部評価を受けた場合は、その旨記入)

■総合評価【A~D】

A:計画通り事業が進んでいる。目標が達成された。今後も計画通り事業を進めることが適当 等
B:ほぼ計画どおりに進んでいるが目標を達成していない。事業の進め方に改善が必要 等
C:当初の計画を達成できていない。事業規模、内容、実施主体等の見直しが必要 等
D:事業効果が表れていない。事業の統合、休・廃止の検討が必要 等

自己評価(一次評価)	評価会議評価(二次評価)	町長評価(三次評価)
A		
町道等の砂利道の安全な通行確保のためには、今後も計画どおり事業を進めることが適当であると判断する。		

今後の展開方向
(Action)

継続/現状維持		
町道等の砂利道の安全な通行確保のためには、継続、現状維持が適当であると判断する。		

※展開方向の区分

- 継続/現状維持又は拡充又は縮小又は統合又は内容の見直し・変更
- 終了 ○休止 ○廃止